

前回協議会の主な意見と対応

■主な議題

地域公共交通計画素案について

■主なご意見と対応整理

発言者	内容	対応整理 (◎反映、○今後の検討)
【市民】 小田部委員	(第1章 基本事項／計画の位置づけ) ・「地域公共交通計画」と「都市交通計画」との関係が分かりづらい。	◎(P2)計画の位置づけ :ご意見を踏まえ、補記
【学識】 中村座長	(第2章 状況と課題／バス・これまでの取組の振り返り・公共交通圏域) ・全バス路線の収支状況の把握が必要である。データを共有し全体の課題を捉えることが必要である。	○今後の検討
	・市の移動支援が一覧で掲載されているが、「支援対象」の表現の精査が必要。	◎(P14)表2-1 :ご意見を踏まえ、利用対象へ修正
	・圏域図は、土地の規制誘導の方針やハザードマップ等を重ね、今後議論を行っていくべきである。 ・また、バスの運行便数が考慮されていないので、一定の便数を確保する視点も重要である。	○今後の検討
【事業者(タクシー)】 大野委員	(第2章 状況と課題／タクシー) ・日本版ライドシェアに係るタクシーの不足車両数は、3か月の限られた期間の集計データであり、実態を示しているか疑問である。	◎(P12)タクシーデータ :ご意見を踏まえ、日本版ライドシェアの概要を示す内容に差替
【福祉関係者】 清水委員	(第2章 状況と課題／福祉有償運送(コラム)) ・福祉有償運送の利用登録会員数の減少が、ニーズの減少のように見え誤解されてしまう。移動困難者数の推移データもあり、支援が必要な対象者が増えている状況を示すべきと考える。	◎(P3、P4)人口動態の変化 :ご意見を踏まえ、移動制約者数の推移について文章及び図を追記
	・福祉有償運送の利用データについても蓄積されているはず。検証を行う場の設置をお願いしたい。	○今後の検討
	(第2章 状況と課題／フレイルリスク(コラム)) ・社会参加がフレイル予防に重要であることがより伝わるよう、文章を修正してほしい。	◎(P16)コラム :ご意見を踏まえ、修正

【事業者(バス)】 関上委員	(第3章 目指す姿／地域公共交通のイメージ) ・新たに導入した地域公共交通が、バスの乗継拠点につながるパターンを記載してほしい。	◎(P18)図3-2 :ご意見を踏まえ、「身近なバス停や生活の拠点につながる」に修正
【学識】 中村座長	・路線バスへの乗継のイメージも追加してはどうか。	
【学識】 中村座長	(第4章 考え方と施策の方向／新たな地域公共交通の導入(シェアサイクル)) ・道路環境の改善と、利用者の交通ルールの順守の視点で記載があるとよい。	◎(P27)施策2「イ 施策の方向」 :ご意見を踏まえ、追記
【事業者(タクシー)】 大野委員	(第5章 施策3／バリアフリー対応車両の導入 及び 周知啓発) ・ユニバーサルデザインタクシーの導入台数を目標にするよりも、実際に障害者の方がタクシーを利用した回数など実態を把握できる目標設定が必要と考える。	◎(P48)施策3「サ バリアフリー対応車両の導入及び周知啓発」 :ご意見を踏まえ、利用実態の確認等について追記
【学識】 中村座長	・アウトプット・アウトカムの視点の議論は重要。バス・タクシー共にバリアフリー化により利用にどう変化があったか、データを共有し、検討してほしい。	○今後の検討
【事業者(バス)】 関上委員	(第6章 指標／バス運転士の充足率) ・充足率の集計方法が分かりづらい。	◎(P52)表6-1 :ご意見を踏まえ、補足説明を追記
【学識】 中村座長	・バス運行維持の厳しい実状が利用者に伝わる指標を、バス協会と連携し検討してほしい。	○今後の検討
【市社協】 田辺委員	(第6章 指標／外出が増加した地区数) ・アウトプットの指標と見えたので、アウトカムの指標を設定できないか。 ・新たな導入の50地区に限らず、バスネットワーク維持や利用促進の取組も含め評価できるとよい。	○今後の検討
事務局	・たまたま同じ50という数字だが、各施策の実施が外出促進に繋がったか確認したい。	
【学識】 中村座長	・外出促進・健康増進などデータによる定量的な評価方法は、継続的な議論が必要である。	
【学識】 中村座長	(第6章 指標／波及効果) ・データ取得に試み、データで取得困難な内容をアンケートで補足してほしい。	◎(P54)表6-2 :ご意見を踏まえ、データの取得を追記